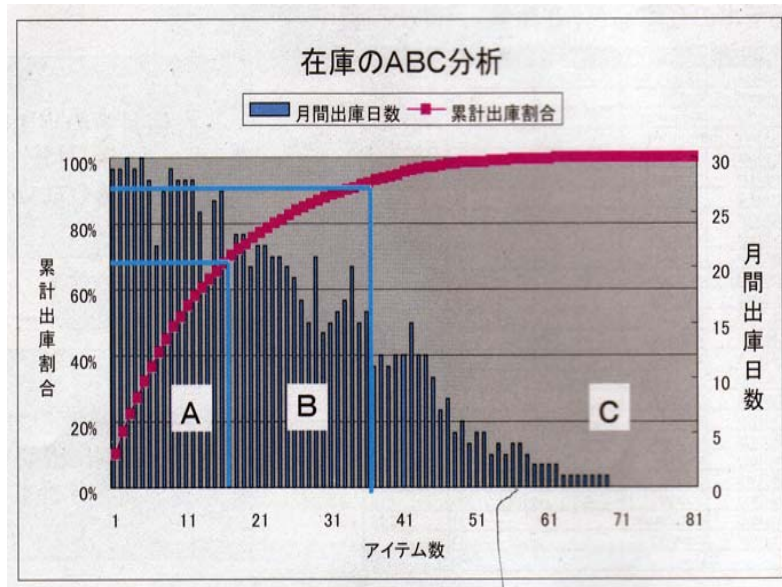
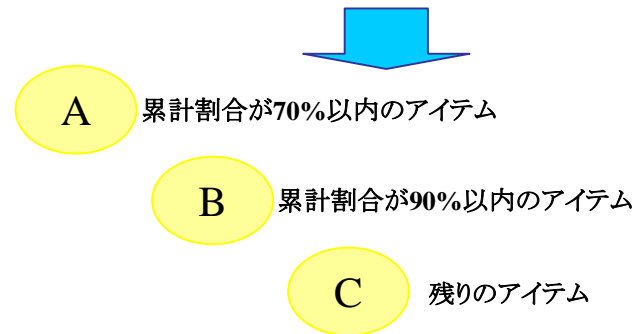


◇物流改善の管理手法 / その1(在庫のABC分析)

重点分析とも呼ばれます。在庫管理や販売管理に用いられることが多く、管理対象を売上高や在庫の個数の多い順に、A、B、Cの3つのランクに分類し、それぞれ管理が可能な状態(Aを優先的に管理する)をつくります。



- ①一定期間の出荷実績をアイテム別に集計する
- ②出荷量の多い順にアイテムを並べ替え、上から出荷累計を計算する
- ③アイテム別に総出荷量に対する累計割合を算出する



全商品の20%が80%の売上を作ると言われます。全体の80%の売上をあげる20%の商品を把握します。

- A 主力商品。欠品の無いように、こまめに在庫量をチェックし、補充が必要
- B 売上が伸びつつある商品。A群と同様の管理が必要。  
売上が下降気味の商品。過剰在庫にならないよう注意。
- C 新製品は別として、不動在庫化の危険性が高い。在庫の絞り込みが必要

入出庫量が多く、回転も早いので、作業効率を優先する。

アイテム・在庫量共に多く、保管効率を重視する。  
ラック等により、空間利用の工夫を行う。

アイテム数が多く、出荷頻度が少ないため、  
誤出荷を誘発しやすい。

トラック輸送(全国チャーター・積み合せ)・路線出荷・倉庫保管(全国対応可能)・流通加工・貿易業務(ドレージ・通関等)、物流に関するご提案はお任せください！  
物流コスト削減、品質向上をご提案します！

【営業所: 大阪、三重、滋賀、兵庫、埼玉】